

「TRIZ 協議会 研究会」のご案内

研究会活動の概要（案）

- (1) 設置目的：TRIZ の適用方法、事例研究など、TRIZ を様々な分野、場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZ の普及・発展に供する。
- (2) 参加者：「TRIZ 協議会（協会）」会員、及び研究会が認めた者
- (3) 運営方法
時間的、金銭的負担を少なくするため、地区、委員ごとにできるだけテーマ分担を行い、各自が自主的に研究することを基本とし、月に 1 回程度の地区集合活動（関東地区、関西地区）と 3 ヶ月に 1 回の全体集合活動（関東地区と関西地区で交互に開催）を実施しながら取りまとめを行い、TRIZ シンポジウムの場で 1 年間（または中間報告）の研究成果を発表する。
 - ① 地区集合活動
関東地区と関西地区で各 2～3 回／3 ヶ月（各自の研究の中間発表と、分科会テーマに関する共通認識を得る場）
 - ② 全体集合活動
関東地区と関西地区で交互に開催し、1 回／3 ヶ月（地区集合活動の研究の中間発表と、分科会テーマに関する共通認識を得る場）
 - ③ 活動場所
公共施設または分科会参加者関連機関
 - ④ 参加費
会場費及び資料費の実費程度とする。
- (4) 設置分科会：
以下の 2 つの分科会を設置する。
 - ① 知財創造研究分科会
 - ② ビジネス・経営 TRIZ 研究分科会
当初予定していたソフトウェア TRIZ 研究分科会は、正式の分科会とはせず、「検討準備会」という形で、有志で検討を開始する。

ビジネス・経営 TRIZ 研究分科会活動計画（案）

1. 活動の目的

いままで、公開されている TRIZ の適用事例は、ワールドワイドで考えても、ほとんどが技術課題であった。今後、TRIZ を更に拡大、普及させるためには、ビジネス、経営およびマネジメント分野の課題に対しても活用できることを証明していくことが求められる。そこで、本研究会では、ビジネス、経営およびマネジメント分野の課題に対して、適用方法、事例研究など、活用するための研究とガイダンス構築を目指し、TRIZ の普及・発展に供する。

2. 研究目標

- (1) TRIZ 適用のビジネス・マネジメント領域の設定
- (2) 適用領域、対象についての手順書・適用事例集の作成

3. 活動内容

ビジネス・マネジメント領域における TRIZ 適用検討会および成果報告会を開催する。

(1) ビジネス・マネジメント領域における TRIZ 応用領域の探索と設定

- ① 公開事例（シンポジウム、TRIZ ジャーナルなど）収集・翻訳、内容分析、企業・団体などの課題収集など
- ② 適応領域・対象の設定
＜適用対象の例＞
 - ・ 技術戦略策定領域
 - ・ 成長戦略と効率化戦略の Trade-on に向けての方策策定領域
 - ・ 業務革新、改革におけるテーマ設定と問題解決領域
 - ・ プロジェクトにおけるリスクマネジメント領域
 - ・ マネジメントにおけるコンフリクトの調停、解決の領域
 - ・ 技術者の創造性開発領域など

(2) 応用領域ごとの TRIZ 適用方法の設定

- ① TRIZ 適用の概要設計
- ② TRIZ 適用の詳細設計
- ③ TRIZ 適用の手順書の作成
- ④ TRIZ 適用の事例集の作成

以上